

第1回 在宅医療を支える 多職種学習会

令和3年12月21日(火) 18:30-20:10

他職種に希望する、他職種からの
希望にこたえる
～あの時こうしてほしかった！

あの時こうしてもらって良かった！～

①



A・Bグループ
(医師・歯科医師)

臨機応変に対応した反面
情報を生かす出来ない...
「在宅」と「入院」開き合う!

指示書も
フォーマット作成で
スムーズになるかも!
Drもどんどん情報を!

Cグループ
(MSW、PSW、入退院
支援看護師)

情報共有... 職種の「要」に、
個別に事情もある...

HPからの情報提供について
在りかたを
検討したい!

どんな情報か
ほしい?

どんな情報
ほしい?

内容や
タイミング

D-1グループ
(在宅医療系・
薬剤師)

通常のお方プラス
在宅の両立...

在宅経験していない人多い...

コミュニケーション
不足
連絡調整

気軽に
連絡ほしい!

情報共有
他の職種の内容を見たい!

一包化

D-2グループ
(在宅医療系・
薬剤師)

マイス意見
生かす
他の薬局の
対応知るきっかけに!

薬を届ける...
その先の連携を!

何が必要な情報?
何でも聞くので
何でも聞いてほしい!

どんどん
声がけて
ほしい!

D-3グループ
(在宅医療系・
訪問看護)

訪看セゴとの違いある...

情報共有
しよう!

誰でも同じ
対応

カラーが
ある

利用者の不安軽減に...

訪看セ同士をつながりをもちたい!

スタッフ
同士...

管理者
同士...

これからも連携を!

D-4 グループ
(在宅医療系・
訪問看護)

ゆくゆくは
ICTに
向けて...

市内の5社で共有できること
検討したい!

他職とも連携... ノートも
使おう!

連絡調整を
しっかりやっていきたい!

薬剤師との
連携...

ケアマネとの
情報共有...

リハの充実
定期巡回 > 地域で実施を!

D-5 グループ
(在宅医療系・
訪問リハ)

リハの情報提供、
共有が不足している...

他職に
伝えるには

実際に
指導



実際の
現場

写真入り
報告書

E-1 グループ
(ケアマネジャー)

終末期の関わり
責任が重い...

情報共有について.

何を
どれだけ

医療系との
関わり

新しい情報
目かかる!

NSと
もっと関わりたい!

共有できる
システムの構築を!

E-2 グループ
(ケアマネジャー)

すばやく
新しい
情報を
提供
したい

相手の望むことを提供したい

直接
会って...

退院後
望むこと

早めの
提供を

コミュニケーションが大切!! 他職
から...

F-1 グループ
(訪問介護)

自分の
対応
振り返る

実際の声か
学びになった!

持っている情報を
もっと発信してい
きたい!

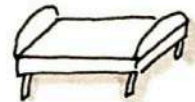


もっているもの
出していこう

F-2 グループ
(福祉用具、訪問介護、
有老ホーム)

早めの対応... なかなかできない

これからの課題!



用具の取り扱い...
十分に配慮していきたい!

F-3グループ
(通所介護、訪問介護、有老ホーム)

有老ホームに多職種訪問!

支えられている安心感がある...



利用者さんも表情柔らかく!

情報共有について...



他サービス利用時
多職種関係時
ノートの活用でスムーズに!

講評

北海道在宅医療推進
支援センター
田上幸輔さん



日々の連携に
感じています!!

前向きな議論に
励まされました!

多職種連携コンペティシー

今日はこの部分を
参加者で
議論できた!!

